

3. 保険・医療・福祉の充実

いつまでも生き生きと
自分らしい暮らしができるまちに

新 新生児聴覚検査費用助成事業（健康福祉課）3万円
すべての新生児に聴覚検査を実施し支援体制を整える。音声言語発達への影響を最小限に抑える。

新 子どもの任意予防接種費用助成事業（健康福祉課）24万円

任意の予防接種であるロタウイルス、おたふくかぜの接種費用の一部を助成。感染力が強く、重症化しやすい2つの感染症を予防する。

新 障がい児者自発的活動支援事業（健康福祉課）6万円

自発的に活動する家族当事者団体を支援することで、地域住民との交流を図り、障がい児者に対する地域の理解を促進。家族同士のサポート（ピアサポート）を推進する。

● 地域包括ケアシステム構築事業（健康福祉課）165万円

鳥取大学医学部地域医療学講座と連携し、医療・福祉・保健・介護・生活支援などが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築する。医療や介護を中心とした多職種連携を推進するほか、今年度は、ケーブルテレビを活用した住民向けコンテンツ作成を行う。

● 高齢者見守り事業（健康福祉課【介護保険特別会計】）246万5千円

高齢者見守り支援とともに、地域住民同士が支え合う「互助」の仕組みを創出する。

● いきいき百歳体操推進事業（健康福祉課【介護保険特別会計】）201万3千円

介護予防事業として、いきいき百歳体操などに取り組み、日常生活の維持・向上を図る。

● 買い物福祉サービス支援事業（企画政策課）578万5千円

高齢者が安心して生活できるよう、移動販売事業者に見守り活動を委託する。

● 生活交通確保対策事業（企画政策課）500万円

タクシー以外に交通機関を利用することが困難な人を対象に、タクシー運賃補助を行い、病院や買い物など生活に必要な交通手段を確保する。

利用者のうち人工透析患者のタクシー助成券の利用が年間48枚を超える場合、最大96枚まで追加交付する。

2. 子育て・教育

家族が安心して
子育てできるまち
将来を担う子どもたちが
のびのびと成長できるまちに

● 子育て世代包括支援センター（ネウボラ）（健康福祉課）

妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談支援と各種の支援サービスを行う。「切れ目のない子育て支援」を目指し、産前・産後の支援体制の充実を通し、家族が安心して子育てできる環境づくりを行う。

① 育児パッケージプレゼント事業（33万円）

新生児家族に対して、産後すぐに役立つ生活用品をプレゼント

② すくすく子育て支援事業（120万円）

1～3歳の誕生日に子育て支援金3万円を支給

● 家庭子育て支援事業（健康福祉課）362万円

生後6カ月から3歳に達する児童が保育所に入所せず、家庭内で子育てしている世帯に給付金を支給し、家庭での子育てを支援する。

支給額：1人につき月額1～3万円

● 公設英語教室事業（教育委員会）216万9千円

英語教科化に先行し、小学校5・6年生および中学校1・2年生を対象に、前九州大学教授を迎え、公設英語教室を開催する。児童や生徒の学習意欲と学力の向上を図る。

● コミュニティスクール推進体制構築事業（教育委員会）215万6千円

学校・家庭・地域が一体となり子どもたちを育てる。コミュニティスクールの導入に向け体制整備を行う。将来の地域を担う人材の育成、学校を核とした地域づくりに取り組む。

● 日野高校魅力向上事業（企画政策課・教育委員会）1,161万4千円

コーディネーターを2人配置し、地域や小中学校との連携を強化し、日野高校の魅力向上を図る。また、再開予定の日野高校双葉寮の運営を支援する。

新 根雨小学校教室照明LED化事業（企画政策課・教育委員会）500万円

電源立地地域対策交付金を活用し、根雨小学校の教室照明をLED照明に交換。生徒に明るい快適な環境で授業や読書の機会を提供する。

1. 移住・定住

「日野に来てよかった、
そう言ってもらえるために。」
あなたの希望に合った提案、
サポート体制の充実を図ります

● 移住定住・空き家対策（企画政策課）

① 移住定住を促進するため空き家対策を行い、受け入れ態勢を整備する。また、移住者だけでなく若年世帯や子育て世帯をターゲットに住宅支援を行うことで、結婚や新築を契機とした人口流出に歯止めをかける。

▶ 移住者向け空き家整備費補助金（250万円）

▶ 移住定住促進住宅整備補助金（800万円）

▶ 家財道具処分支援補助金（120万円）

たて・なおし補助金
（移住者向け空き家整備費
補助金）の活用事例



② 移住定住相談体制の強化（330万円）

移住定住コーディネーターを配置し、移住定住に関するさまざまな相談への対応や移住者のフォローアップを行いながら、町への移住定住を促進する。

③ お試し住宅の運営（148万3千円）

町内の空き家を借り上げ、お試し住宅として活用。移住希望者を対象に、短期間滞在して日野町での生活を体験してもらい、日野町を具体的な移住先として検討してもらう。

④ 移住者の通勤費支援補助金（174万円）

米子市など町外に通勤する移住者を対象に通勤費の支援を行い、移住を促進する。

⑤ あゆ奨学金（日野高校入学等支援および小中学生教育支援）96万円

移住世帯に小中学生、日野高校に入学や転入する生徒がいる場合、または、孫ターンで日野高校や小中学校に通う場合に教育費の一部を支援する。

● 婚活サポート事業（企画政策課）100万円

婚活イベントを実施し、若者世代に出会いの場を提供することで、未婚・晩婚化の軽減を図る。

● 「ふるさと住民票」制度運営事業（企画政策課）51万9千円

町出身者などに「ふるさと住民」として登録してもらい、「ふるさと住民カード」の発行、町広報紙など「ふるさと定期便」の発送、町特産品のモニターやパブリックコメントなど、まちづくりへの参加や町民との交流会を開催する。町外からの視点による意見をまちづくりに反映させるほか、郷土への思いやつながりを保ち、将来的にUターン、孫ターンによる定住に結び付ける。

テーマ

主な事業

控えめに言って盛りだくさん。
みんなで町を盛り上げよう！
今年こそ
やります！！

町では、今年度もさまざまな事業を計画しています。主なものを紹介します。

新：新規事業